

2025年3月12日

パナソニック株式会社 2025年春季交渉※について

パナソニック株式会社は、「事業は人なり」の考え方を経営の根幹におき、人への投資については、個々人の成長を促し、会社が将来にわたり社会へのお役立ちを果たすための最重要課題と捉えています。心身ともに健康で働くことに幸せを感じられる環境、多様な価値観を尊重しチャレンジを奨励する風土などを通じて「社員のウェルビーイング向上」と「人が活きるカルチャーの醸成」を目指しています。

2025年春季交渉では、より多くの社員がエンゲージメントを高め、能力を最大限発揮しながら挑戦し続けることで、事業の持続的な成長や企業価値向上につなげるべく、労働組合に対し以下内容の回答をしています。

1. 賃金

開発・設計職基幹労働者 30歳の個別賃金水準について、13,500円（定昇含む賃上げ率6.73%）の改善を図る。

2. 賞与

業績連動にて算出。

3. 初任給

高校卒 201,000円、短大卒 213,000円、高専卒 233,000円、大学卒 265,000円、大学院卒 293,000円とする。

4. 下記に関する制度改定、運用改善等の実施に向けて、労使で継続して論議を進める。**①障がい者雇用の環境整備**

・雇用率向上に向けた職場の理解浸透施策、障がい者が働き続けやすい職場環境の整備

②男性育休の取得推進

・会社および従業員視点での男性育休の本質的な意義を再確認し、それに基づく施策を検討

③シニア層の活躍促進

・シニア層がモチベーションを持って働くことができる環境づくりに向けた検討

※注

・パナソニック株式会社では、傘下の5事業分社と直轄部門の6つの単位で、組合（パナソニック エレクトリックワークス労働組合、パナソニックアプライアンスユニオン、パナソニックエアコン・コールドチェーンユニオン）と交渉を行っております。上記は直轄部門に関する内容です。

ご参考 パナソニック株式会社組合員数 約15,400人

以 上